

YT: 鹿児島からいらしたんですね。

SK: はい。

YT: いつ頃ですか。

SK: 1907年の正月にシアトルに上陸しました。

YT: 日本人のほか人と一緒にですか。

SK: たくさんの日本人と一緒にきました。

YT: その時のことを話していただけますか。どうして日本からアメリカに来たのか。

SK: 私が15歳のときに、日本の中学校2年のとき、親父の事業に失敗しました。もう学校に出せないというので、ちょうどその時、近所の人からアメリカに来るようになっていたので、それでアメリカと一緒に来るようになったのです。

YT: 15才というとまだお若く若かったんですね。

KS: ええ、まだほんの子供でした。

YT: シアトルに上陸してすぐ仕事を始められたのですか。

KS: 2ヶ月位遊んでいましたから、近所の知人の世話してくださ  
いまして、日本人のウェーダーのペルマに入りました。そこで1年

余り働いておりましたが、ちょうどその年にブラザーがきましたから、ロス

アンゼルスの親類の者がありまして、あつちに来るやうに手紙が再三

きましたから、1908の春頃、ロスアンゼルスに行きました。そして

ロスアンゼルスで(1908まで)今のガーデナーがあの頃は田舎で、日

本人がたぐまんいちごを作っていましたから、そこで1年働きました。

それからヤルゴット会社の方に村の人が <sup>スロウ</sup>の <sup>ヤルゴット</sup> ランチを <sup>Sugar Beet</sup>

コントラクトしていましたから、そこに働きに行きました。あとで1年

位居て、1911でしたか友達とロンボックに行ってオニオンと

ポテト作りの百姓をはじめました。3年ロンボックで百姓としてが

失敗して借金ができましたから (Mrs. オニオンが安かったか

ら) それでガダルーベの <sup>Sugar beet</sup> ランチに来て、あとで働いて

その借金を返しました。ちょうど <sup>Guadalupe</sup> にオオイシさんの

ランチに2年働いて、それからトモオカさんという人がポテトを作

るからぜひ働いてくれと言われたので、トモオカさんの所に行

って5年働いたのです。そして1920に家内が来ましたから

トモオカさんの所に一緒にいたゴヤギ熊本のという友達と一緒にアビ

ラにプリンターを印刷に行きました。そして2年一緒に百姓していましたが  
土地が狭いし2人でやるだけなので、これはオシヤノに友達がいま  
したから来て、今のケンの住んでいる所に〔<sup>南</sup> 2mile 〕15エーカーの畑を  
レノに、それから、1923からずっとアロクランテに住んでいます。

YT: 1923年頃、この地にはたくさん日本人がいたのですか。

SK: いえ、たくさんはいたかたです。サルワタリさん、フクハラさんたちもこのオー  
パークの方にいちごを作っていました。この下の方〔<sup>東の方</sup> 〕には、私か  
はじめで行ってピーを作ったのです。そのピーがよくできて、値段もよかつた  
し、明治19年<sup>翌年</sup>に林君がサンフランシスコから来て私の隣りは百姓をはじめ  
め、その次にオノ君がセズモから来て百姓をはじめ、一緒にピーを  
作って大変もうかりました。評判がよくなって(笑い)たくさんの人が出て、  
フクハラ、カワオカさんとか、ハセシさんがブリーダーを呼び、フクハラもよび、  
私もブリーダーをよんで、サルワタリ、タケタ、ナカムラ、クボさんなど、9人位の人  
がみんなピーを作るようになりました。その前に1921にセズモの人  
が7、8人ピーを作っていましたので、その人達が組合を作って、ロスアンゼルス  
と SF のマーケットでは多すぎるので、カーを 作る 場所 イーストの方にシフト

おぼろげに、オシアに <sup>packing</sup> \_\_\_\_\_ ハウスを作った人です。その組合に私達  
 も1928 ~~ごろ~~ <sup>に</sup> 作ったのです。そしてヒズモの人と一緒にヒズモオシア  
 ベジタブル エクスチェンジ というのを作り、それから私達もイーストの方に  
 シフトするようになったのです。

YT: その会社は戦争の前にはじめて戦争のあとはどうなりましたか。

SK: 戦争のあとは、またみんなが帰ってきて、カワオオさんとオノ君は帰ってき  
 ませんでしたか、今でもずっと続けています。戦争後は、一世の人が2、  
 3年のうちに、オノ君が死ぬ、イケダ君が死ぬして、二世が主になりました。  
 それで今もほとんどみんな二世が \_\_\_\_\_ ハウスをやっています。

KK: 今は二世の人が \_\_\_\_\_ ハウスをやるとして盛んになっていますよ。

SK: 今は二世の人は畑を広くして、私たちの時よりもずっと盛んに大きくなって  
 います。

YT: もう一度 シアトルに来た時の話に戻りますか、日本を出る時には、いっはう  
 けんめい働いて、もう一度日本に帰ろうと思って来たのですか。

SK: <sup>はい</sup> 親父が金がないので、私はおじから借費を借りてきました。アメリカに来  
 て、村の人が スクールボーイに行くと勉強するように 勧められましたけれど

金を借りておりましたから、学校にも行かなくなりまして。月給が10ドル  
でした。小さいもだから人並に給金はもらえないです。そのスローンの  
ホスマセスがちょうどお産をされて、フォーイーとトウイーの子供が  
2人いて半年位ベビーシフトをしていました。(笑)

YT: それから日本には何度か帰られたのですか。

SK: 1930年に親父が病気とってきましてので、家族をみんな連れて帰りました。

YT: どうですか。でも日本には帰らないというふうに決められたのはいつ頃で  
すか。

SK: それは、戦争後です。子供たちが、もう日本には帰らないというも  
うです。私は最初は日本に帰るつもりでしたので、少し金かたま  
たら。それでも子供たちが日本に帰らないというので、私達もこの国に  
腰をすえたのです。ちょうど日本に帰っている間に、今のこの土地を  
レントしていたのですが、地主が売りに出たのです。それで友達の手君  
が早く帰ってこなければ土地が売られてしまうというもです。から、~~急いで~~

~~帰ってこなければ土地が売られてしまうというもです。から、急いで~~

YT: ~~この時、手君が早く帰ってこなければ土地が売られてしまうというもです。から、急いで~~

SK: ~~いや、その時はボクが父の組合、幹事としておりました。~~  
~~お父さんが買入りました。~~

YT: それと戦争の前に ~~お父さん~~ 土地があったので、戦争が終つてから、その土地に戻ることができたんですね。

SK: はい。

SK: 戦争が始まる前の頃は、火田もあったし事業としてはあきく成功

YT: していただい <sup>SK:</sup> たので、~~お~~ 果たした成功というわけでもなんでしょうか、生活には困らず、裕福に暮らしていましたよ。その頃は今のハヤシ君の時に3E 30エーカーモントして作っていましたから。

YT: 子供さんは何人おられますか。

SK: 4人います。ボーイが2人、ガールが2人

YT: みんな火田に出たんですか。

SK: (イソ子: No, みんなではなかった) 戦争が始まる年、長男

長男は別?

は、ハサデナの工科大学に入っていました。次男はまだハイスクールでしたから一緒にキャンパスに行ったんです。ガール 2人も一緒に行きました。

私は戦争が始まって、2月にその年日本人会の役員をいたしましたから、ノスタコロダに引っ越されたのです。あそこで6月にヒアリングがあったら

白人のボランティア

SK.

くわいことを聞かれました。戦争前に私は3,000マイル位アフリカの  
ボンドを買っていたから、あかあよからたのたろろと思います。ヒアリングが  
すんだら許されて、家族がフレスノにいて一緒にになりました。

YT: 戦争がはじまったから12月であから、2月というときには連れて行かれたから  
たのたろ。

X SK: はい。日本人は土地の関係が やみ になったから。X

YT: この辺の一世の人はみんな名頃(なごころ)に家族からいわれてどっかに連れて行かれた  
たのたろ。

SK: みんなではなく、日本人会の役員としていた人だけ6人がノースタックに  
引っぱりまされた。日本人会に入っている人

YT: 日本人会というのは JAL ということですか。

KK: そうではなくて、日本人会というのが サクリスにあってたのたろ。あの頃は日本人が  
この辺のピストンやらサクリスにたくさんおりましたから、日本人会というのができ  
て、日本人の世話をしたのたろ。その日本人会のちよと役員としていたのたろ、この  
から2,3人引きあげられて、その人達だけ立ち 首 ノースタックがどっかに  
にやられたのたろ。

YT: 残った家族の方はそれからすぐフズノの方に行かれたのですか。

KK: 4月になって、たいていの家は荷物を片付けて、フズノのツラシに行っていたのです。それに立ち回ってしまったら、ハツパが帰って来ました。

YT: その時の様子はどんなだったのですか。みんな仕方なく行くとか。

KK: 仕方がなくて行っていたのですね。自分の家を立ち回って仕方なく。この辺の空気が悪かったので、もし家をそのまゝにして行ったら火免かれるかもしれないと思い、荷物はみんな整理して、アーミーのウエアハウスにあずけて行きました。

YT: 帰ってきた時に、荷物は大丈夫でしたか。

KK: はい大丈夫でした。荷物の少しはワンルームにロックしてつめておきました。だいたいものはアーミーのウエアハウスに入れてもらったのです。

SK: ちょうど隣りにホルキーの白人がいました。小さい時から心やうくしていましたから、立ちゆく時に私の土地とカウチのボックスだけのシートで、貸して、ハウスも私の道具もその人にあずけて行っていたのです。その人がよく世話をしてくれましたから、私たち帰って来た時には、割合なんでもならぬのであります。

YT: ほかに人達の話だと、泥棒にみんなさらわれてしまったとか、写真はグダグダに



それで捨てるかとか聞きましたか、とでもラッキーでしたわ。

KK: 何人が私に家に若いうちからトラクター使いをして働かせていたのです。それで、立ちのきなげればならないと言ったら、自分が百姓をやるというのです。それで、種物なんかもみんな何人にせり、トラクターも賃して、こい戸ウツケしてちょうだいと ~~シナ~~はタフスだけにして、何人にやらしてもらったのです。それで、泥棒にもあわれなかったわやです。

YT: そうですか。戦争が終ってから <sup>元の場所には</sup> ~~リ~~帰ってきた人はとても少いそうですね。

KK: そうですね。私達がナンバーワンでした。

SK: まだ戦争が終らないうちに、WRAの人が私たちに ~~土地~~ <sup>土地も</sup>ハウスもあるから帰るよりにというので、このカールと5月に帰ってきました。まだ空気が悪くて、毎晩WRAの人がウツケに来てくれました。

IF: ミシンの中にわていましたよ。アトサイドでね。私とお文さんとハウスの廊下で寝ました。ウツケの方で寝たら危いでしょう。2人廊下で寝てね。(笑)

KK: 私たちはキャンプに残っていました。この子とパパが帰ってきて、こいと ~~言~~ <sup>言</sup>っていました。

YT: 日本人だからということ、他から何かあるということですか。

KK: いたずらでしょう。

IF: 鉄砲でやったりね。廊下だとハウスの真中でしょう。

KK: あのハウス、今のケニのハウスは真中にホールがあるんです。そこに2人が寝たそうなんです。こわかったのですね。そして WRA の人が毎晩きて、橋の所にミシンをとめて、夜通ししていたそうです。とても親切なものでね。

YT: 早く帰って来たのは、<sup>before the ending of the war</sup> 特別の人だけだったのですか。

Mr. 特別の人たちだけでした。

SK: みんなぶうに、土地やハウスをわけている人たちと戦争が終らないうちに  
自然に帰るよう<sup>カハメントカ</sup>に決めたのでしょう。私達をこの身取りでは最初

帰してくれました。最初ほえらかったです。おそろしかったんです。

YT: 家族の人達がみんな戻ってきたのはいつですか。

KK: 私達は戦争の最頃、7月でした。帰ってきてから私は戦争がすんだという天皇陛下のお水が下ったというのをラジオで知りました。WRA の

人がテストしてみて大丈夫と思ったから、もう帰ってもいいと言われたから。

アロヨグランドではパパとこのガールと二人が一番最初に帰ってきたんです。

そしてサンタマリアウズレーの人達も帰ったので木養子を見に来たのに。

11  
ref 11  
29270

ホテルに泊めてくれないと言って、家に来て泊ってね。~~体~~は置かないから  
みえ汁とごはんをたいて、私はごはんをあげておりました。そんな人が何人  
もいました。グロサリーに行ってももうきてくれるよと言います。それとエ  
ミのミセステイラーという人が 両方に 婦人会の会長をしておられて、  
その方が 婦人会のミーティングをもち、こゝで日本人が帰ってくるから、温  
く迎えようと言って皆にスピーチして、この辺の空気をだいたいかわら  
げてくれたのであ。

YT: そうだね。いかに人もいたけれども、そうでない人もいたからね。

先に帰して来たという人が、キャンプにみんなを集めたのが、いづらか間違  
っていたということで、早く ~~早く~~ が 終らなくても返すようにしたのだ。

BK: がバスタの方では 戦争が 終りに近付いたと思つて 自然に帰るようには、  
帰りやすい人から ← したのだね。 土地を House で持つ人

YT: あると同じキャンプに居たのだね。

M: はい、~~そ~~うのキャンプに 4年いました。

YT: キャンプでは何かの仕事がありましたか。

BK: キャンプには 農業部とかいろいろあって、私は百姓の方で働いていました。

S.H.

YT: どんな物を作ったのですか。

KK: やはり野菜を作りました。キャンプで使う野菜とか。

KK: 自分たちが食べたり使う野菜を作るのです。 サマーにはゴブタらしいかや

うりなどもその人たちが作りました。4つの方々経験のある人は4つの

farm ~~が~~ があったのでそこに参りました。

YT: 最初にキャンプに行った時は多分混乱もあってはうけかた？ どの位

でキャンプの生活は落ちつきましたか。

KK: 日本人はあんなに少なかったんで 余り騒動は1回くらいです。ワラビーに

3ヶ月位いました。暑かったです。 Then Gila に3ヶ月位は。

YT: <sup>その時若い人はもうみんなキャンプに入っていたから、このキャンプの先には出て行く。</sup>  
教会のこととE <sup>キャンプには子供も一緒に来て、子供は2週間ほどは</sup> ~~うかがう~~ ところ、 サンタリパにある日本人教会は戦争

前からあったのですか。

KK: あれは戦争前からありました。

KK: 去年50周年を祝った。

YT: 昔のまの建物ですか。一番多い頃ではどのくらいは？ どの位集

ったのですか。 ~~和の行の行~~ 20人位しか来なかったのですか。

SK: はじまった頃は日本人の一世の ~~熱心~~ 熱心な人が多かったから、50人位

でした。別の教会を建てるときは <sup>金持の</sup> グラルーペのミナミさんとか <sup>人</sup> 人とかい  
き附を以て、ようやく建てたのです。

YT: この辺の人たちも サンタリアまで行ったのですか。

SK: はい。

KK: 日本人は白人の教会に行っても <sup>?</sup> 説教かわかりませんから、一世のオオシタ  
さんという人が長いことおられたので、そこに行きました。

[牧師]

YT: 11ヶ月前まで日本語をやっていたのですか。

KK: 今でも日本語部があります。今の牧師さんは白人で、サタデー朝からの説  
教は <sup>?</sup> 英語でなされます。日本人 <sup>?</sup> [-世] が行くとも日本語でもするのです、二

世、三世の人はたいていおします。それで一世の人はもうサンタリアの方に行

かちいで、プロブレントのチャーチを借りて、サタデーにやっています。エター  
<sup>2週間</sup> <sup>オオシタ?</sup>  
トウウィークのサタデーはサンタリアの牧師さんが別の教会に来て、一世を

YT. Is that so?

教して下さいます。

YT: それはもう向うに行かなくてもいいのですか。

KK: はい、行かなくてもいいのですか。クリスマスとか何か言うときはあるのか  
あれ [ ] ですかから行きますか。

S.A.

? YI: 11733 アロクランテの教会はどこですか

[44]

KK: 白人のメソジスト教会のワイルームを借りています。

YI: アーサー神塚 [ ] さんは アロクランテの教会ですか。

KK: 彼はピスマの白人の教会に行きました。

YI: クリスマンの人と仏教の人ではどちらが多いですか。

KK: 仏教の方がだんぜん多いですよ。この辺に来ていらっしゃる日本人の方は  
 広島、和歌山、熊本県からで、たいてい仏教の熱心なところから来て  
 おります。それで仏教がうんと多いのです。仏教の人10人にクリスマン  
 が1人くらいいないかです。

YI: それでも昔 仏教会とキリスト教会が一緒に何かやりましたか。

KK: アロクランテでは日本人ホームを作りました。ここではキリスト教も仏教も  
 どちらも使うようにしました。日本人は少いからみんなでお金を出して日  
 本語学校も作りました。

YI: 彼はあんなはここに来てからクリスマンになったのですか。

KK: 私は小さい時 クリスマンのサテイスクールによく行ってました。私のころ  
 では [鹿児島] 神道でしたか。神道はこの辺にはありませんでした。  
 7/1/86

どうしてこんな所に来たのかと思って...

SK: アメリカはいい所だと思って日本から来たのでしょう。泣くです。(笑)

KK: 私は余り貧乏もしなくて、女学校までは行って、娘であから裁縫でもして遊んでいました。そしてアメリカに来てみれば、自分の家も持っていない人でしょう。こんな家はあつたかと思つて毎晩泣きました。(笑)

YT: 写真結婚の時はアメリカからいふインフォーマーションが来たのでしょう。  
どういふか...

KK: 主人の家と私の家はワシントン州のワシントンにありました。そこで親同志はよく知つていたのです。そこでこの人のおはさんか、友達同志であつた。Youの娘をくわと言つたから。これにたいして話か決つたので、<sup>何年か</sup>手紙のやりとりをして、<sup>お二人の</sup>なつかし<sup>い</sup>下書きがわかりました。結婚しました。

YT: どういふに上つたかですか。

KK: シアトルです。

YT: どうですか。それは迎之に...

KK: はい迎之に来ました。この人のアラスカで海軍士官の人によく知つていましたから、<sup>この人を知りた</sup>ハハー [ ] 見ておりました。それでは会つたかと思つたのです。二人はついで写真結婚といたしました。

SK

SK: 1920で写真結婚ができたから、それで仕方なく結婚しました。

YT: そうお疲れでしょう。

erased.  
about picture bride

SK: No, 2人で話をしてくるよ。

YT: 昔は日本語の新聞をとっていたらあか。

SK: 日本語の新聞は昔からありました。私は今でもロサンゼルスから新聞をとっています。


YT:

↓ 行事は日本と同じようにやっていますが、お正月とかお盆とか。

SK: 日本と同じようなことをしています。

KK: 両方やっていますよ。7月4日、<sup>アスウェービング</sup> Thanksgiving, クリスマスとみんな家に  
[家族の人の?]  
きてやっていたんです。今はもう私は年をとったので、この人達 [子供] の  
家に招かれて行きます。(笑)

YT: お葬式はどんなにしていますか。

KK M ホールに集まって御焼香して、クリスチャンは <sup>教会</sup>  お話もあつた。

YT: お墓はアロヨフランドの墓地ですか。アメリカ人の中に日本人がまらっているのか。

SK: 今はもうまらっています。



- KK: 前は日本人だけの区域からあったけれど、今はたいていみんな一緒だよ。
- YT: もう一つ、昔日本人がここに来た頃はアメリカ人の数も少なかったでしょう。その人達はやはり主に百姓だったんですか。
- SK: この辺はホルキーが多く、百姓と牛飼が多かったんです。
- YT: カンリスの街は今のようにならなくて、Cal Polyが<sup>学生と</sup>あったので、先生方も百姓をやってきた人が住んでいたんです。
- KK: あたかもホルキーの多いところ、昔はテイラーが多くて、雨が降ると喜んで、ホルキーの人はみんなタウンに出て酒を飲んでいました。
- YT: アメリカ人の人と一緒にミートングやパーティをしていたか。
- SK: ほとんどありませんでした。
- IF: 日本人会を別に<sup>たいてい</sup>やっていました。
- KK: 言葉がわからないので、その人達の中にまじってやっほやっほ行ってませんわね。仏教会、キリスト教会とかいて日本人が多くて、パーティをしたり正月のあそび<sup>も</sup>をしていました。日本人はたいてい日本人ばかりでやっていました。
- YT: セクニックに行ったり。

KK: 延 七ツ二ツクに行つたりして。

YT: 今はもううちは少くならまいたでしょう。

KK: 今では七ツ二ツク 行ってありませんね。

IF: 4.5年前までは 2月12日? の七ツ二ツク, 正月に \_\_\_\_\_, 7.8月

に \_\_\_\_\_ 七ツ二ツク, もう10年後 前かしら。 = 世の代り = たら

もういらない = 世は白人と一緒にできから。

Shigehiko Kabara